

平成19年10月4日

柴田町議会

議長 伊藤 一 男 殿

議会広報特別委員会

委員長 小丸 淳

委員会行政視察報告書

先に実施した議会広報特別委員会行政視察研修の結果を、次のとおり報告します。

記

- 1 期 間 平成19年6月27日(水)～28日(木)
- 2 視察地 ・岩手県金ヶ崎町議会
・岩手県町矢巾町議会
- 3 視察内容 議会だよりの編集について
- 4 視察概要 別紙のとおり

< 岩手県金ヶ崎町議会 >

平成 19 年 6 月 27 日視察

1 . 町の概要

岩手県南内陸部に位置し、産業は第一次産業の農業では米、畜産、野菜の複合経営が行われている一方、岩手中部工業団地への大手優良企業の立地操業により、第二次、第三次産業の就業人口が高まってきている。

また、それに伴う住宅団地の開発も進んでいる。

昭和 54 年に「生涯教育の町」を、平成 8 年に「平和国際交流の町」を、平成 11 年に「田園環境保全の町」を宣言している。

平成 19 年 4 月 1 日現在の人口は 16,460 人、世帯数は 5,378 世帯で、平成 19 年度における一般会計予算は 68 億 2,410 万円となっている。

2 . 研修内容

(1) 「議会だより かねがさき」の発行

発行回数...年 4 回 (定例会毎)

定例会の翌月第 1 週木曜日に発行

印刷部数...5,300 部

配布先...町内全世帯、町内関係機関、近隣市町

紙面規格...A4 版、表紙・裏表紙カラー、記事は 2 色刷り、

縦 6 段組み、字体 14 級 (縦 80%)、12 字詰め、

ページ数は 20P を基本、印刷方法はオフセット印刷、

紙質はしらおいマット R コート、44.5 Kg、再生紙

発行費用...平成 19 年度予算は印刷代で 1,050 千円

その他...会議日程の「お知らせ版」を発行 (行政区回覧)

(2) 議会だよりの編集

編集体制

・議会だよりの編集は、議会広報特別委員会が担当。

・委員会は委員長、副委員長、委員 5 人の 7 人で、任期は 2 年間。

編集作業

・編集日程

第1回編集会議 議会運営委員会終了後、開会前日までの間
内容の検討、発行日程、紙面割り、役割分担の確認等

第2回編集会議 会期終了後数日以内

原稿〆切は議会終了日

原稿作成・確認、見出し・先導文、割り付け、表紙、写真配置

第3回編集会議

第1回校正（委員全員）

第2回校正（委員長、副委員長）

第3回校正（委員長、副委員長）

最終チェック（議長、議会事務局長）

紙面構成

・記事の配分...文章30%、写真30%、見出し・余白30%。

トップ、リード、本文の順。

・割り付け ・書体、見出し、囲みものなどの位置を決める。写真、カット、全体のレイアウト、紙面バランス、色彩バランス等の検討。トップ記事、議案 質疑順。

・写真...一般質問、議案など被写体は時局的なものを選ぶ。

その他編集全般

・編集は議員だけで、議会事務局はノータッチ。

・中学生にも理解できる内容で編集する。

・レイアウトは委員長が作成する。紙面の統一性が図られる。

・表紙の写真は2年間（任期中）統一性のあるものを掲載。現在「子ども」の写真シリーズ。

・追跡記事を毎回載せたいと考えている。

・編集の担当は2年間（任期）同じ。

・掲載記事の取舍選択の基準は、町民が関心を持っている内容。

< 岩手県矢巾町議会 >

平成 19 年 6 月 28 日視察

1 . 町の概要

岩手県のはば中央に位置し、県都盛岡市に隣接、盛岡広域都市圏に属している。自然災害は少なく、農地（水田）と都市近郊型の住宅地が混在した町である。

産業面での特徴は、都市化の進展とともに北東北の流通拠点として、岩手流通センターや盛岡貨物ターミナルなどが立地され、現在では盛岡中央卸売市場や矢巾町西部工業団地が整備されている。

昭和 41 年 5 月 1 日に町政施行され、平成 19 年 4 月 1 日現在の人口は 27,266 人、世帯数は 8,859 世帯で、平成 19 年度における一般会計予算は 85 億 7,530 万円となっている。

2 . 研修内容

(1) 「やはば議会だより」の発行

発行回数...年 4 回（定例会毎）

定例会終了後 40 日以内

印刷部数...9,600 部

配布先...町内全世帯、首都圏在住のふるさと矢巾会会員等

紙面規格...A4 版、11 字詰・34 行、6 段落、

ページ数 16 P 平均、写植オフセット印刷 2 色刷、字体 15 級平体 1 号、紙質は再生紙、グリーンユトリロ 100、70 Kg

発行費用...平成 19 年度予算（全経費） 2,433 千円

(2) 議会だよりの編集

編集方針

- ・ 議会の活動状況を町民にわかりやすく、かつ詳しく伝えるとともに、町民から見た議会への提言を、機会をとらえてできるだけ多く掲載する。
- ・ 一般質問のトップや議案は、住民の関心度が高いと思われるも

のを選択し編集する。

- ・記事の掲載にあたっては、公平・中立な立場で客観的な編集姿勢を編集方針としている。

編集体制

- ・議長が選任した5人で編集委員会を構成。任期は2年間。
- ・編集は事務局共同編集型である。

編集作業

- ・編集日程

第1回編集委員会 議会運営委員会終了後、議会開会前
編集方針、企画記事、紙面構成の検討。一般質問原稿等の担当委員の決定。写真撮影は議会事務局が担当。

第2回編集委員会 議会閉会15日後
記事・見出しの校正。紙面校正・レイアウト、写真の確認。

第3回編集委員会 議会閉会23日後
再校正、校了は議会事務局が担当。

掲載事項

- ・一般質問、議案審議、特別委員会、請願・陳情結果、意見書、討論、議員紹介、常任委員会、調整調査会部会の活動状況、予算・決算・主要行政課題等の特集、過去の一般質問の追跡、町民の声

その他編集全般

- ・町村議会広報全国コンクールの最優秀賞をめざし編集をしている。
- ・質問は1/3、答弁は2/3の文字数にしている。
- ・見出しは十分に時間をかけて検討をしている。見出しの文字数は9～11文字。

【研修のまとめ】

視察研修は、平成18年度町村議会広報全国コンクールで、優秀賞の岩手県金ヶ崎町議会の議会だよりと最優秀賞に輝いた矢巾町議会の議会だよりの編集について学びました。

かねがさき議会だより編集の特徴は、次のとおりです。

発行日が定例会の翌月第1週木曜日にしており、短期間で議会だよりを編集し、町民に定例会終了後すぐに見られるようにしていること。

掲載記事の取舍選択は、町民が関心のあるものを基準にしていること。

レイアウトは委員長が作成し、紙面の統一性や編集の効率性を図っていること。

追跡記事を掲載していること。

定例会の日程を掲載した「お知らせ版」を発行していること。

この中でも特にレイアウトについては、委員長がレイアウトを作成し、紙面の統一性や編集の効率化を図っているので、本委員会でも採用し編集のレベルアップにつなげていく必要があると思います。

また、やはば議会だより編集の特徴は、次のとおりです。

一般質問や議案審議は、住民の関心度が高い記事を掲載順にしていること。

一般質問の原稿を編集委員が作成していること。

編集体制は、編集委員会（文章担当）と議会事務局（写真担当）の共同編集型にしていること。

一般質問の掲載記事を年1回掲載していること。

議会だよりは、町村議会広報全国コンクールの受賞をめざすことにより、より良い議会だよりの編集につなげていること。

このほか研修中の話し合いの中で、柴田町議会の議会だよりはまじめな印象を受けることと、町長の答弁が「です・ます調」を使っている点について、コンクール審査では「使わない」ということもあったので、本委員会でもレイアウトや文章の語尾の取り扱いについて、もう一度見直しする必要があると思いました。

今回の研修で学んだことで、全体的に共通して検討が必要と考えられる事項は、次のとおりです。

レイアウトの作成

記事の取捨選択

追跡記事の掲載

文章の語尾の取り扱い（常体・敬体）

今後、本委員会においても、視察研修で学んだ結果からこれらの課題を検討し改善に努めるとともに、委員一人一人が編集の基本を再確認して編集に取り組み、住民から親しみが持てる議会だよりづくりに努めていかなければならないと思いました。